

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！  
企業のちから

No.30 The company in Shirakawa

(株) Y S K 福島営業所・工場

住所：大信下新城字東区2-9  
事業内容：精密シャフト、産業機械部品の製造・販売

すべてに“真剣勝負”で取り組み  
顧客を第一に精度の高い商品を提供



- 産業機械などに使用されている製品。大学と共同で製品開発も行っています。
- 工場外観。毎週月曜日に工場内外の清掃をしています。
- 従業員の皆さん。礼節を大切に、来客者には必ず目を見てあいさつをしています。
- 福島工場では、自社工場内で唯一最大5mのシャフトを製造しています。
- 蓄積された経験を基に、研磨をする様子。
- 「自社工場内で一番の工場を目指したい」と話す福島さん。

「私たちの会社は、主に産業機械や印刷機器などに使用される精密シャフトを、旋盤から研磨まで国内では珍しい一貫工程で製造しています」と話す製造課マネージャーの福島直樹さん。

YSKは、昭和41年に個人事業として大府八尾市で創業し、西日本を中心に事業を展開。独自の技術と顧客の満足度を追求した結果、東日本方面からの受注が増え始めたため、様々な交通の利便性の良さから、平成20年に福島営業所・工場を建設しました。

敷地面積は12,460㎡で社員は29人。そのうち20人が地元の人で構成されています。技術を必要とする作業が多いことから、指導者が新人とペアを組み、熟練した技術とノウハウの継承に努めています。また、年に一度自分で設計製造した“こま”の回る時間を競うK-1グランプリを開催しています。さらに、様々なニーズに応えるために、品質管理や顧客の満足度の向上、環境への配慮を心掛け、平成20年にはISO9001、平成24年にはISO14001を取得しています。

「お客様を第一に精度の高い商品の提供を心掛け、国内外へのシェアの拡大を目指していきます」と福島さんは力強く話してくれました。

ふくしま destinations キャンペーン

ツーリズムガイド白河 推薦スポット⑤

しらかわの贈り物

解説

国によって整備された官道である東山道に位置しています。野火により焼失した後も、次々と新しい芽を出し、花を咲かせています。

庄司戻しの桜と伊達政宗

1180年、奥州平泉にいた源義経が兄頼朝の平家追討を聞き駆け付けます。大鳥城主佐藤元治（飯坂庄司）は義経に従う息子、継信・忠信を旗宿まで見送り、桜の杖を大地に突き立て義経への忠義を説きました。この杖が討ち死にした兄弟の忠義を感じ桜の大樹になったと言われています。1189年、頼朝の奥州攻めで常陸国中村一族が奥州軍の元治を打ち破り、福島県北部の伊達を拝領、氏を伊達と称しました。1603年、仙台に青葉城を築いたのは17代伊達政宗です。

ツーリズムガイド白河会員  
鈴木邦彰さん Suzuki kuniaki

ツーリズムガイド白河では会員を募集しています。 ☎ (公財) 白河観光物産協会 ☎@1147

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、まつり2日目の夜に行われた提灯行列の様子です。各町内がそれぞれに工夫を凝らした提灯の妙技や神輿の練りを披露し、観客はその勇壮な姿や幻想的な提灯の明かりに魅了されていました(写真は中町交差点)。